

オンライン開催

～ ロジスティクス・プロフェッショナルへの第一歩～

第89期 ロジスティクス基礎講座

物流・ロジスティクスの基礎を6日間で体系的に学ぶ

後援申請予定：経済産業省・国土交通省

開催日程

2024年

6/12
(水)

6/13
(木)

6/27
(木)

6/28
(金)

7/9
(火)

7/10
(水)

受講対象

- 物流・ロジスティクス関連部門の新入社員、新任担当者の方
- 上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方

〈オンライン開催の特色〉

- オンラインでの開催により、場所を問わずご受講いただけます。
- オンラインによるリアルタイム(ライブ)での講義となります。投票やチャット等の機能を使い、臨場感ある講義を行います。
- テキストは事前に郵送にてお届けし、お手元にテキストを控えながらご受講いただけます。

※ビデオ会議ツール「Zoom」を利用した講義となります。ご受講に際しては適切な通信環境の確保、デバイスの準備、アプリケーションのインストール等が必要になります。詳細は申込書をご覧ください。

2024年度ロジスティクス基礎講座開催日程

開催期	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
第89期 (オンライン)	6月12日(水)	6月13日(木)	6月27日(木)	6月28日(金)	7月9日(火)	7月10日(水)
第90期 (オンライン)	11月6日(水)	11月7日(木)	11月19日(火)	11月20日(水)	12月5日(木)	12月6日(金)

※諸事情により開催日時やカリキュラム等が変更になる場合があります。

「ロジスティクス基礎講座」 受講のおすすめ

国内の物流・ロジスティクスを取り巻く環境は激しく変化しています。この環境変化の中、CO₂削減や人手不足解消といった社会的課題への対応のために、製造業や流通業等の「荷主」と運送業や倉庫業等の「物流事業者」がお互いに協力し、業務効率化や付加価値向上に取り組むことがより一層求められています。近年では特に、個社の枠を超え、業界全体での協働によるサプライチェーンの全体最適化といった動きも加速しています。

需要と供給の同期化による機会損失や過剰在庫の削減、物資移動の最小化といったコスト低減のみならず、企業における人、モノ、金、情報の流れの最適化を実現する戦略的マネジメントであるロジスティクスは、企業経営において重要な概念として位置付けられています。そして、全体最適に資するロジスティクスの構築とその高度化を実現するためには、経営幹部から若手社員に至るあらゆる業務に携わる全ての従業員が、ロジスティクスの目的や機能を理解したうえで業務に取り組む必要があります。

当協会では、主に新入社員や新任担当者の方を対象とした「ロジスティクス基礎講座」を開講しております。本講座は、ロジスティクスの概要からオペレーションの各機能、さらには在庫管理、物流コスト、物流改善まで、ロジスティクスの基本を体系的かつ効率的に学ぶカリキュラムとなっており、ロジスティクスの概念を理解し、全体最適化に向けたマネジメントに必要な基礎知識を短期間で習得することをねらいとしております。

ロジスティクスに関わる調達・生産・物流・営業部門等の新入社員や新任担当者の方、ロジスティクスの基礎について改めて学習を志す方のご受講をお待ちしております。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
能力開発委員会
ロジスティクス基礎講座専門委員会 委員長
学習院大学
経済学部 経営学科 教授
河合 亜矢子



受講対象

- ◆ 物流・ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当者の方
- ◆ 上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方

本講座の特色

- ◆ 物流・ロジスティクスに関わる基礎知識を体系的に学習するための講座です。
- ◆ 受講者の方々に講義内容の理解を深めていただくために、課題レポートを2回提出いただきます。
- ◆ 後半のレポートは講師のコメントを添えて、後日フィードバックいたします。

	提出時期	文字数	テーマ ※後半のテーマは2つのうち1つを選択していただきます。
前半	講義開始前	300字以上 400字程度	あなたは本講座の受講を通して、何を学びたいと思いますか。
後半	講義終了後	800字以上 1200字程度	1 あなたの職場における（企業における）ロジスティクスの問題点は何だと思いますか。また、その問題点について、あなたならどのような解決策を提案しますか。
			2 ロジスティクス基礎講座の受講を通じて気づいたことと、その気づきを踏まえてあなたの業務で実践したいことについて記述してください。

- ◆ 本講座を修了された方には「修了証」を授与いたします。

※修了規程：講座を全日（6日間）出席し、計2回の課題レポートを提出すること。

2023年度 受講者データ

【受講者数422名】

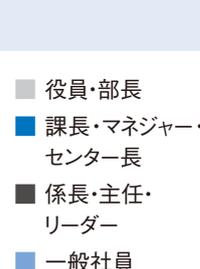
業種構成

※受講企業143社の内訳



役職構成

※受講者422名の内訳



第89期ロジスティクス基礎講座 カリキュラム

日程		講義内容	講師
6月12日 (水)	※9:50より 事務局からのご連絡 10:00～12:00	1 I. ロジスティクス概論(1) ロジスティクスの概要/ 物流・ロジスティクスを取り巻く環境/物流の機能/ 企業価値とロジスティクスの関係	魚住 和宏 氏 SCMソリューションデザイン 代表
	13:00～15:30 ※15:35まで 事務局からのご連絡	2 ロジスティクス概論(2) ロジスティクスにおける顧客満足/ 物流ネットワークと拠点の役割/在庫管理の考え方/ デザイン・フォー・ロジスティクスの考え方/ サードパーティロジスティクスの役割	
6月13日 (木)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:00	3 II. ロジスティクス・オペレーションの基本機能 ①輸配送(1) 輸配送の定義/輸配送の役割/物流環境の変化と輸送/ 輸送機関の種類/各種輸送機関の特性/ 各種輸送機関の運賃料金/ 主な輸送機関の積載能力・容積の比較/ 輸配送システム構築のポイント	興村 徹 氏 (公社)日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー 株NX総合研究所 顧問
	13:00～15:30 ※15:35まで 事務局からのご連絡	4 ②輸配送(2) ユニットロードシステム/輸配送における環境対応/ 輸配送をめぐる最近の動向	
6月27日 (木)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:30	5 ③包装 包装の定義/包装の役割/包装の種類/包装の適正化/ 包装開発の基本的な流れ/包装における環境対応	北山 義弘 氏 北山コンサルティング 代表
	13:30～16:00 ※16:05まで 事務局からのご連絡	6 ④保管 保管の定義/保管の役割/物流センターの役割/ 保管の基本/庫内レイアウト設計の基本/流通加工の機能/ 保管コストの考え方	
6月28日 (金)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:00	7 ⑤荷役 荷役の定義/荷役の役割/物流センターにおける荷役作業/ マテハン機器の種類/ロケーション管理方法/ ピッキングシステムの種類/ピッキングの方式/ 最新マテハン機器の動向	宍戸 哲哉 氏 株サード.アイ 代表
	13:00～15:30 ※15:35まで 事務局からのご連絡	8 ⑥情報システム 情報システムとは/情報システムの基礎技術/ 物流管理システム(LMS)の機能/ 倉庫管理システム(WMS)の機能/ 輸配送管理システム(TMS)の機能/最新ICT技術の動向	
7月9日 (火)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:00	9 III. 在庫管理 在庫管理の定義/在庫と企業価値の関係/在庫管理方式/ 在庫変動の要素/適正在庫算出の考え方/在庫適正化の方策	荒木 協和 氏 SUNSTAR GROUP BUSINESS PARTNER ロジスティクス研究室 室長
	13:00～16:00 ※16:05まで 事務局からのご連絡	10 IV. 物流コスト 物流コストの定義/トータル物流コストの考え方/ 物流コスト把握の効果/物流コストの計算方法	
7月10日 (水)	※9:55より 事務局からのご連絡 10:00～12:30	11 V. 物流改善 物流改善の定義/改善活動の効果/物流改善の対象領域/ 物流改善の基本的な流れ/物流改善の進め方/ 物流改善の技法と改善例	飯田 正幸 氏 (公社)日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー
	13:30～15:00 ※15:10まで 事務局からのご連絡	12 VI. ロジスティクスの課題と展望 ロジスティクスを取り巻く課題/ これからのロジスティクスの展望	

※諸事情により開催日時やカリキュラム等が変更になる場合があります。

受講者の声

「大変勉強になったとともに、自分の視野がいかに狭かったかを自覚することができました。物流・ロジスティクスをより良くできるよう、本講座で学んだ内容を活かしていきたいと思います。」
(製造業所属)

「本講座を通じて、自分の知識では知り得なかったことまで知れたことは大変有益でした。物流業界といっても奥深く、まだまだ自分の知識が少ないことを再認識させられました。配付されたテキストも、今後の業務で何かつまずいた時などに成長の糧として活用したいと思います。」
(物流業所属)

「全体を通して、日本のロジスティクス、SCM は世界においてはまだまだ課題があることが浮き彫りとなりました。ロジスティクスや SCM の重要性をもっと国内に浸透していくことが必要であると感じました。各講師の講義が一回しか聞けないのが残念だと思うくらい、有意義な講義でした。」
(流通業所属)

2023年度 受講企業

※社名50音順 原則として受講時の社名を記載しています。

(株)IHI	(株)サイマックス	ニッコー・ロジスティクス(株)
アイエイチロジスティクスサービス(株)	札幌自動車運輸(株)	(株)ニッポン
アイカ工業(株)	三桜工業(株)	日本WeP流通(株)
愛知日野自動車(株)	三恵技研工業(株)	日本貨物鉄道(株)
I-P-E-X(株)	サントリーマーケティング&コマース(株)	日本GLP(株)
(株)アグロジャパン	サンネット物流(株)	日本郵便(株)
旭化成建材(株)	(株)J-オイルミルズ	沼尻産業(株)
味の素ファインテクノ(株)	ジェイカス(株)	(株)パイロットコーポレーション
東海運(株)	ジェイティ物流(株)	パナソニック エナジー東浦(株)
(株)アダストリア・ロジスティクス	敷島製パン(株)	パナソニックオペレーションナルエクセレンス(株)
(有)網干自動車教習所	静岡ロジスティクス(株)	パナソニック コネクト(株)
アマゾン ジャパン(同)	芝浦梱包運輸(株)	(株)ヒガシトウエンティワン
イオグローバルSCM(株)	シマノセールス(株)	日立建機ロジテック(株)
(株)イシダ	中央システム(株)	(株)日立フーズ&ロジスティクスシステムズ
一宮運輸(株)	十和運送(株)	日野グローバルロジスティクス(株)
出光ユニテック(株)	昭和産業(株)	日野自動車(株)
伊藤ハム米久ホールディングス(株)	(株)スギ薬局	(株)フジイ
(株)インフォセンス	(株)スギヨ	不二運輸(株)
エイベックス・エンタテインメント(株)	住商グローバル・ロジスティクス(株)	藤倉化成(株)
ANAエアロサプライシステム(株)	住友建機(株)	富士通(株)
AGCエスアイテック(株)	住友重機械搬送システム(株)	富士フィルムロジスティクス(株)
(株)エクシード	西濃シェンカー(株)	富士物流(株)
江崎グリコ(株)	セオ運輸(株)	(株)富士ロジテックホールディングス
SEIロジネット(株)	(株)セブン&アイ・ホールディングス	芙蓉総合リース(株)
SCSK北海道(株)	センコーグループホールディングス(株)	ブラザーインターナショナル(株)
SBフレームワークス(株)	全国農業協同組合連合会	ペルノリカールジャパン(株)
(株)MLS	第一実業(株)	ホームエコ・ロジスティクス(株)
(株)オカムラ	ダイオーロジスティクス(株)	本田技研工業(株)
沖電気工業(株)	ダイセル物流(株)	増田石油(株)
(株)王将フードサービス	太陽誘電(株)	マツダロジスティクス(株)
(株)スワロー急送	タカラベルモント(株)	マンハッタン・アソシエイツ(株)
(株)ギオン	(株)ダスキン	三井化学(株)
キッコーマン食品(株)	(株)TANAX	(株)ミツバ
キャノンITソリューションズ(株)	タニコー(株)	三菱商事ライフサイエンス(株)
共同物流(株)	千葉積水工業(株)	三豊化工機(株)
共立製薬(株)	DCM(株)	ミルテニーバイオテック(株)
キリンビジネスシステム(株)	テルモ(株)	モノプラス(株)
クミアイ化学工業(株)	東京建物(株)	森永乳業(株)
クラレテクノ(株)	東芝ITサービス(株)	(株)八幡ねじ
クリエイト(株)	東ソー物流(株)	(株)ヤマザキ物流
(株)栗原医療器械店	東洋メビウス(株)	山村倉庫(株)
(株)クレハ	東リ(株)	(有)協立物流
京王電鉄(株)	(株)トーカン	(株)郵便局物販サービス
(株)ゲオ	トーヨーカネツ(株)	ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)
月桂冠(株)	(株)豊田自動織機ITソリューションズ	(株)吉野家ホールディングス
鴻池運輸(株)	中村運輸倉庫(株)	(株)リケン
(株)コマースロボティクス	南総通運(株)	(株)YE DIGITAL
コマツ物流(株)	西日本鉄道(株)	

ロジスティクス基礎講座専門委員会 委員一覧

(2024年3月現在。順不同、敬称略)

委員長	河合亜矢子	学習院大学 経済学部 経営学科 教授
副委員長	脇田 哲也	SBS東芝ロジスティクス(株) 物流改革推進部 企画担当 参与
委員	魚住 和宏	SCMソリューションデザイン 代表
委員	樋口 聡	NECソリューションイノベータ(株) 営業機能・上席プロフェッショナル
委員	田阪 幹雄	(株)NX総合研究所 リサーチフェロー
委員	平井 伸郎	花王(株) SCM部門 ロジスティクスセンター 管理グループ部長
委員	北山 義弘	北山コンサルティング 代表
委員	宍戸 哲哉	(株)サードアイ 代表
委員	荒木 協和	SUNSTAR GROUP BUSINESS PARTNER ロジスティクス研究室 室長
委員	能見 宏樹	テルモ(株) SCM推進室 室長
委員	飯田 正幸	(公社)日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー
委員	興村 徹	(公社)日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー (株)NX総合研究所 顧問
委員	内田明美子	(株)湯浅コンサルティング コンサルタント

物流技術管理士補資格認定コースのご紹介

物流技術管理士補資格認定コースは、ロジスティクスの基礎知識を既に習得された方を対象にしたグループ演習を中心とする資格認定コースです。本コースは、企業事例をベースとしたグループ演習に特化しており、実践力を2日間で集中的に身につけることができます。

【開催日程】

- ・第1回 2024年9月25日(水)–26日(木)：東京開催
 - ・第2回 2025年2月 5日(水)– 6日(木)：オンライン開催
- ※詳細は当協会ホームページよりご確認ください。

〈受講料：75,900円(税込／1名)〉

- ◆実践的なグループディスカッション・演習を中心としたプログラムです。
- ◆様々な知識・知見・経験をもったメンバーとのグループディスカッション・演習を通して、新たな視点や取り組みのヒントを得ることができます。
- ◆「ロジスティクス基礎講座」で学んだことを整理・再確認していただくために、受講前に課題レポートをご提出いただきます。
- ◆本資格認定コースを修了*1された方には、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会より「物流技術管理士補」*2の資格を授与いたします。

*1 受講前に課題レポート提出および本資格認定コースへの2日間の出席が必要です。

*2 「物流技術管理士補」資格取得者を対象に、「物流技術管理士資格認定講座」および「国際物流管理士資格認定講座」の受講料を優遇させていただきます。

ロジスティクス基礎講座・物流技術管理士補資格認定コース 受講の流れ

講座名	物流技術管理士補資格認定コース	開催日数	2日間
受講対象	<ul style="list-style-type: none">●産業能率大学が実施する通信教育「物流の仕事がわかるコース」および「物流技術の基本と改善(旧・物流技術を極める)コース」両コースの修了者●東京海洋大学大学院「食品流通安全管理学」講義における所定単位取得者●流通経済大学流通情報学部ならびに大学院物流情報学研究科における所定単位取得者●中央職業能力開発協会が実施するビジネスキャリア検定「ロジスティクス管理」または「ロジスティクス・オペレーション」の2級もしくは3級の合格者かつ、企業等での実務経験を有する方●日本ロジスティクスシステム協会が実施する「ロジスティクス基礎講座」修了者	受講料	75,900円(税込／1名)
		プログラム構成	講義／グループ演習／課題レポート

講座名	ロジスティクス基礎講座	受講料	JILS会員 : 88,000円(税込／1名) JILS会員外 : 104,500円(税込／1名)
受講対象	<ul style="list-style-type: none">●物流・ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当者の方●上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方	プログラム構成	講義／課題レポート
開催日数	6日間		

ロジスティクス基礎講座

講座の受講
(6日間)

講座の修了(※)
修了証書の授与

※修了要件
・6日間の講義出席
・課題レポート提出

物流技術管理士補資格認定コース

資格認定コースの
受講(2日間)

資格認定コース修了(※)
物流技術管理士補
資格を認定

※修了要件
・2日間の講義出席
・課題レポート提出

申込規定

受講料

●ロジスティクス基礎講座	
公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会会員	受講料 88,000円(税込/1名)
上記会員外	受講料104,500円(税込/1名)

(注) 昼食費は含まれておりません。

定員 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

●ロジスティクス基礎講座 200名

お申し込み方法

●本講座のお申込みはWEBもしくはFAXにて受け付けております。お申込み方法につきましては以下をご覧ください。

WEBの場合

当協会ホームページの本プログラムのページよりご確認ください。
当協会のホームページは www1.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。

[HOME] → [事業案内] → [教育研修] → [講座・コース]

※QRコード読み取り機能のあるスマートフォン等をお持ちの方は右記QRコードを読み込みアクセスすることもできます。

※QRコードは画面の傷、汚れ、光の反射等によって読み取れない場合があります。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



FAXの場合

●下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。

【開催日直前のお申し込みについて】

●開催間近のお申し込みについては、事務局へお問い合わせください。

お問合せ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 業務管理部
〒1105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエビディウム3階
E-mail : shien@logistics.or.jp

ご注意

<オンライン開催でのご受講に際して>

日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご了承くださいこと」(URL <https://bit.ly/346E1Ag>)と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申込みください。

- 以下の条件を満たしたPC等をご準備ください。
 - ・Zoomクライアントをインストールしていること。
- 本講座の受講者は申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加ください。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本講座を期間限定で配信します。
- 受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本講座の録画、録音、撮影は禁止します。
- 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。

<Zoomクライアントについて>

本オンラインセミナーはZoomを利用して実施します。ミーティング用Zoomクライアントをインストールのうえ、以下のZoom接続テストURLにアクセスいただくと接続の確認をすることができます。

Zoom接続テストURL <https://zoom.us/test>

受講料お支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則として派遣責任者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までお願いいたします。(開催後になる場合は、受講申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。
- 【お願い】
- 受講予定の方のご都合が悪い場合は、全講義を代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
- (注) キャンセルはFAXまたはE-mailにてご連絡ください。

【キャンセル規定】

開催7日前～前々日(開催日初日を含まず起算)……受講料(消費税を除く)の30%
開催前日および当日……………受講料(原則として消費税を除く)の全額

●【オンライン開催】第89期 ロジスティクス基礎講座 受講申込書 ●

フリガナ 会社・事業所名	<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 会 員 外	支払予定日 (開催後になる場合はご記入をお願いいたします) 月 日 支払予定
フリガナ 派遣責任者	所属	
住所 〒 -	T E L : - - F A X : - - E-mail :	
フリガナ 受講者 1	所属	
住所 〒 -	T E L : - - F A X : - - E-mail :	
フリガナ 受講者 2	所属	
住所 〒 -	T E L : - - F A X : - - E-mail :	
第89期ロジスティクス基礎講座 申込 名 円	BA-2405	※E-mail を必ずご記入ください。Zoom へのログインや事務局からの連絡のお受け取りが可能なメールアドレスのご記入をお願いいたします。 ※請求書は原則として派遣責任者様宛となります。請求先変更のご希望等は「協会への連絡事項」欄へご記入ください。

協会への連絡事項	受付日	請求日	請求番号

個人情報のお取扱について

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。
なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。